

2026 年 7 月 9 日

社員の皆さんへ

三菱重工サーマルシステムズ株式会社
取締役社長 伊藤 喜啓

コンプライアンスメッセージ

当社が社会から信頼される企業であり続け持続的に成長し、お客様、当社社員とその家族、社会、ビジネスパートナーをはじめ当社を取り巻くすべてのステークホルダーからの満足度を高め、また、存在価値を高めて、企業として存続し続けていくためには、関わる全ての人々の信頼と支持を得ることが欠かせません。

社員の皆様には、三菱重工グループ共通の規範である「グローバル行動基準」と以下の内容をよく理解し、コンプライアンスを最優先に業務を遂行することをあらためて要請します。

1. コンプライアンスの徹底なくして企業の存続はあり得ない

当社グループ全社員の皆さんには、いかなる事業環境においても、コンプライアンスの徹底なくして企業の存続はあり得ないことをあらためて強く意識し、各種法令・規制・規格および社内規則・規定・基準・手続きの遵守とともに、業務の意味をよく理解して、常に公正・誠実に業務に取り組んでください。コンプライアンスは事業の制約ではなく、持続的な成長を支える基盤であることを忘れてはなりません。

2. コンプライアンスを自分ごととして捉える

コンプライアンスは、誰かに任せればよいものではなく、私たち一人ひとりが自分ごととして強く意識し、実行しなければ維持できません。前例や慣例に頼らず、常にその判断が正しいかを自問してください。公正で適切な業務を行うことが当社グループの持続的発展につながるとの強い信念のもとにコンプライアンスの最優先を常に心掛けてください。

3. ルールを正しく理解して、遵守する

コンプライアンスを欠く行動を取ってしまうことがないか、今一度ご自身の行動を省みてください。また、コンプライアンス違反の原因の一つに、知識不足があげられます。法規や規格、ルール等の内容を正しく理解していない、あるいは以前と同じやり方でやっているから正しいと思っていた、といったことなどから、意図せずコンプライアンスに違反してしまうケースがあります。しかし、「知らなかった」は全く言い訳になりません。業務に必要な法規、ルールや社内周知されているコンプライアンスに関する情報等の知識を身につけるよう心掛けて、コンプライアンスを優先する原則を絶対に忘れずに公正・誠実に業務を遂行してください。

以 上